

平成21年11月20日発行

# 第169号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会  
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32  
事務局 ☎3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

## セシオン

### 高円寺地域区民センター報

# ふれあい

<http://www.sesion.jp/>

## あわてんぼうの

おみやげも  
あるよ!



【日時】12月5日(土) 13:00~15:00

【場所】和田小学校体育館・和田区民集会所

【申込方法】「往復ハガキ」に

1) イベント名 2) 住所 3) 氏名 4) 年齢を  
記入の上、お申込みください(2名連記可)  
尚、未就学児は、同伴保護者名も記入してください

【申込先】高円寺地域集会施設運営協議会

〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 ☎3317-6614

【締切日】11月19日(木) 必着

【対象者】3歳以上小学生まで(未就学児は、保護者同伴)

## クリスマス会 2009

高円寺地域集会施設運営協議会

## きた!きた! 高円寺まつり

★開催が春から秋に変わりました★

日時: 11月28日(土)

時間: 午前10時~午後3時

会場: 高円寺北区民集会场

### ◆1階/グループ発表

11:00~12:00 杉並江戸落語研究会(落語三題)

(休憩)

13:00~13:40 聖涼会(日本舞踊)

13:40~14:20 ミノアカ土方(フラダンス)

14:20~15:00 中野手話リズムダンス協会(手話コーラス)  
メタボ測定・高円寺北幼稚園児作品展示

### ◆2階/作品展示

油絵・書道・絵手紙・フラワーアレンジメント  
水引工芸・つるし雛・生花 など

※お子様に、わたあめ・ポップコーンのプレゼント  
※来場者に苗木のプレゼント(先着順)

協力: 高円寺北幼稚園・高円寺保健センター  
杉並区みどり公園課

主催: 高円寺地域集会施設運営協議会  
☎03-3317-6614

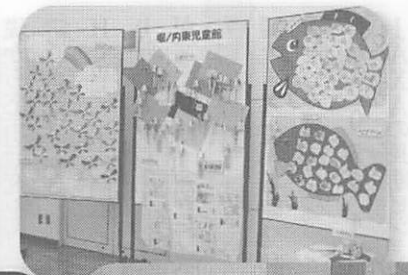
回																					
覧																					

★高円寺地域集会施設運営協議会事務局 ☎3317-6614

セシオン杉並 9月12日(土)

ふれあいまつり

2009 (2035名)



## ふれあい音楽会

9月26日(土)

「魅惑のハワイアン」(235名)

★体育部講演会 10月11日(日)

★『夢をかたちに...今出来る事』  
★ボウリングを生涯のスポーツに!! (73名)



並木恵美子氏

### ホームページ リニューアルのお知らせ

平成21年10月、当協議会のホームページをリニ  
ューアルし再開いたしました。

当協議会が企画・運営している「おまつり」や「講座・  
講演会」、広報誌「ふれあい」等の内容、協議会の組織・  
運営状況等について適切かつタイムリーにお知らせ  
することを念頭に、運営してゆきたいと思っています。

内容や記事等にご希望やご意見がありましたなら  
ば、遠慮なくお知らせください。

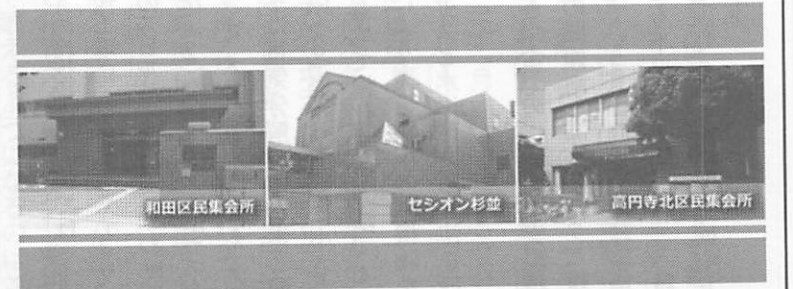
「ホームページ委員会」

<http://www.sesion.jp/>

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

## 杉並区 高円寺地域区民センター協議会

※平成22年4月1日より上記の新名称となります。



和田区民集会所

セシオン杉並

高円寺北区民集会所

★高円寺地域区民センター(セシオン杉並) 〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 ☎3317-6611(代)

★和田区民集会所 〒166-0012 杉並区和田2-31-21 ☎5340-6272

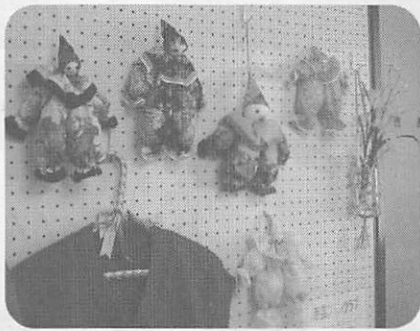
★高円寺北区民集会所 〒166-0002 杉並区高円寺北3-25-9 ☎3330-7255

印刷/(株)佐野

# 自主グループ紹介

その④

## 手芸ファンクラブ



手芸ファンクラブ 作品

### \*会の活動状況

私たち「手芸ファンクラブ」は、17年前「マクラメの会」として結成されました。当初はマクラメを中心に行っていたが、編み物、小物作りと手芸全般に広がりました。講師が引退された後は、会員全員が講師になり、生徒になりと和氣藹々、それぞれの自由な課題に取り組んでいます。押し入れに眠っている糸や布を使って、リフォーム。友人、子ども、孫へのプレゼント等々、おしゃべりをしながら、手を動かしながら、月2回、楽しい時間を過ごしています。

## セシオン書心会



セシオン書心会 作品

### \*会の活動状況

当クラブは平成元年「セシオン杉並」開場の年に発足して、今年で満20周年を迎え、会員数は発足当時(40数名)から現在25名と減少しましたが、益々元気に活動をしています。その活動内容は、明るく、楽しく、和やかに書(楷書、行書、草書、隷書、かな文字)を学び、春のセシオン祭り、秋の文化祭等にその成果を作品にして出展しています。なお、当クラブの名称「書心会」とは、書を学ぶことにより心身の健康と精神の安らぎを持つこと

\*代表者：藤原 浩子

\*連絡先：03(33316)4190

\*場所：セシオン集会室

\*練習日：毎月第1・3土曜日、

午後1時～3時30分

\*会費：500円/月

いつでも見学できます。

と思われる。

また、当クラブは初心者、特に定年を迎えてこれから何かをと思っっている方大歓迎です。興味をお持ちの方はぜひ一度活動状況を見学していただきたいと思っています。

\*講師：飯塚 竹径先生、

伊藤 蘭馨先生

\*代表者：第13代 外ノ池 武夫

\*連絡先：03(5307)5705

\*場所：セシオン杉並

\*練習日：毎月3回(第1・2・3火曜日)

午前10時～12時

\*会費：3,000円/月

## カラオケ教室「友紀会」



カラオケ教室「友紀会」練習風景

### \*会の活動状況

セシオンが建てられた平成元年、区の公募のメンバーから自主グループが作られ、20年が経ちました。開設以来の会員も数名残っています。会の名前は「新谷紀之と友達になろう」というも

のです。

稽古は月の第1、第3金曜日18時～21時、第音楽室です。会員は60～70歳代を中心に約20名、最高齢は86歳の男性も。「飯より歌が好き」、「元氣と健康の源は歌にある」と会員の誰もが思っています。月謝は、3,500円、幹事さん3人は出納と年1回の決算報告等が役目です。

平成20年5月に主催者の新谷紀之先生がご逝去、奥さんに跡を継ぐようにという遺言により、会で語ったところ全員一致で賛同、これまで通りの流れを尊重して会を継続することになり、現在に至っています。

月2回毎回「課題曲」が出され、歌好きとは言え高齢の身には新曲2曲を人前で歌えるようになるのは並大抵のことではありませんが、皆さん休まずに楽しく集まっています。

発表会は、年1回3つのグループの合同発表会、総勢100名ほどの参加で、賑やかにを行っています。

\*代表者：新谷(あらや) 佳枝

\*連絡先：03(33998)4161

次号170号  
1月20日  
発行予定

## 文化部講座より

# 「宇宙を考える時代の到来」から

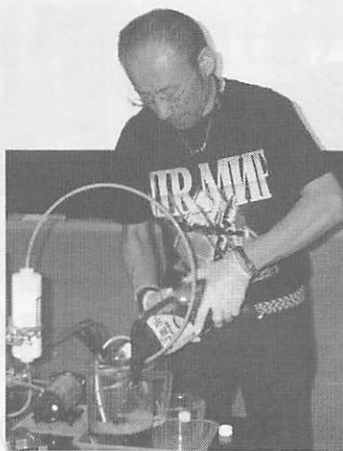
小口 美津夫

平成21年5月、3回に亘ってJAXAの小口美津夫氏によつて上記テーマの講座が開かれ、JAXAの紹介や国際宇宙ステーションへの日本の宇宙実験棟「きぼう」組立の映像、宇宙空間を再現するおもしろ実験などによる日本の宇宙研究開発の現状についての講演があった。ここでは、講座の中から2、3のトピックスを紹介する。

## JAXAとは?

2003年10月に政府の行政改革の一貫として、ペンシルロケットからロケットの開発を行った東大宇宙科学研究所、国産旅客機YS-11の開発支援など基礎から応用研究を行っている科学技術庁(現文部科学省) 航空宇宙技術研究所、HIIロケットの開発や気象衛星「ひまわり」などを打ち上げた宇宙開発事業団が一つになり、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)として宇宙に関する基礎から開発利用までを行う機構として発足した。

2005年4月に発表されたJAXAの長期ビジョンでは、「宇宙の謎の解明と月利用」、「有人宇宙活動や宇宙輸送システムの開発」、「宇宙航空技術の防災や地球環境問題への応用」などを



国際宇宙ステーションに組み込まれた日本実験棟「きぼう」

通じて「宇宙産業を日本の基幹産業にする」ことを目標にして活動することが述べられている。最近の活動では、月周回衛星「かくや」が写したハイウェイジョン映像や国際宇宙ステーションでの日本の宇宙飛行士の活躍の報道が伝えられたことは記憶に新しい。

国際宇宙ステーション(ISS)は、宇宙実験や観測を行うことを目標に、米国・ロシア・日本・カナダ・欧州宇宙機関など15カ国が参加する国際プロジェクトによつて、2010年4月の完成を目標としている。ISSの大きさは、幅108m・長さ74m、体積は12000m<sup>3</sup>、重量420t、地上から約400kmの上空を約90分で地球を一周する有人施設(最大6名が滞在可能)である。

## 宇宙環境の人間への影響

高真空、無重量で、かつ地上よりも多い放射線被曝を受ける宇宙に長期滞在すると人体へいろいろな影響が現れてくる。1992年日本人では最初に毛利飛行士が経験した宇宙酔いや顔が浮腫むようになるムーンフェイスなどの他、骨からカルシウムが尿中に1～1.5%/月程度ずつ溶出しカルシウム不足状態になり、また筋力も低下する。このため2～2.5時間程度の運動をして体力を維持している。この他精神面への影響が考えられるが、現在良くわかっていない。

## 宇宙での自給自足型の生活に必要な技術の開発

人間が生活するためには、最低限、食料、水、酸素が必要である。宇宙において

必要最小限の生活をするとしても、NASA(アメリカ航空宇宙局)の試算では、食料0.62kg、飲料水3.1kg、酸素0.84kgの他、シャワーや洗濯などの生活用水を合わせると、1日約30kgの物資が必要になる。現在の有人宇宙活動では、これらの物資は地球から持って行き、必要であれば定期的に補給している。これに対して将来の惑星間飛行などの長期滞在に備えて、人間が生活することによって発生する炭酸ガス、廃水、排泄物、生ごみなどの廃棄物から酸素や水、食料を作る技術(人工的な地球を作る)の実験研究が、米国やロシア、それにJAXAで行われている。

JAXAの技術開発の例では、(1)宇宙での植物工場による栽培やティラピアを藍藻類のスピルリナの組み合わせで飼育する方法、(2)発生する炭酸ガスを水素と反応させ、メタンと水に変え、メタンは燃料に水は電気分解して水素と酸素にする方法、(3)廃水を非常に小さな穴を持つ膜を使って浄化する方法、(4)湿式酸化法により廃棄物中の有機物を分解し、炭酸ガスと水に変える方法を研究している。

このような宇宙での生活環境実現技術は、宇宙での問題解決だけでなく、現在我々が抱えている食糧問題や地球環境問題の解決にも不可欠な技術として、将来必ず役立つて行くことを信じて研究している。